

ビハール州国道整備計画（フェーズ2）【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド共和国
(2) 案件名	ビハール州国道整備計画（フェーズ2）
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	インド東部ビハール州において、国道 82 号線を拡幅・整備し、また沿線主要都市付近においてバイパスを建設することにより、急増する道路交通需要への対応を図り、もって地域経済の発展に寄与するものである。 案件の内容 ・道路建設工事（本線道路約 93km（うちバイパス約 11km）、サービス道路約 16km、交差点 27 箇所） ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 25 年 3 月 26 日 イ 供与限度額：214.26 億円 ウ 金利：1.40%（コンサルティング・サービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：30 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、ビハール州では、近年の経済発展に伴って、車両台数が 2002 年から 2011 年にかけて、102 万台から 267 万台に増加（10 年間で約 2.5 倍）すると見込まれる一方で、道路整備水準は低く（インド平均道路密度は 387km/10 万人に対し、同州の道路密度は 125km/10 万人）、早急な道路網の整備が必要となっていた。2020 年においても、同州の車両登録台数は 855 万台と大きく増加する一方で、人口 10 万人当たりの道路延長は 279 kmと、インド全体の平均 439 kmを下回る水準にあり、急増する道路交通需要への対応を図るために、早急な道路網の整備が引き続き必要であることから、現在も本事業に関するニーズが高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 交渉の結果、用地取得に至らなかった一部区間について、やむを得ず道路線形変更が必要となったため、本体工事の開始が遅れた。2016 年 10 月に現地企業が受注し、工事を開始したものの、事業用地上の障害物の除去、新型コロナウイルス感染症の流行等を背景に事業遅延があったほか、受注企業の資金繰り等の影響による工事の遅延等のため、一定期間、事業実施が停滞した。現在は、遅延事由が解消しており、2023 年 11 月の完工に向けて事業が進捗している。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定通りの効果が見込まれる。また、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。

3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料
-------------------------------	---